

粒立ちのよい煌めくタッチ、温かくも瑞々しいリリカルなピアノリズム
いま世界が熱い眼差しを送る注目の超実力派ピアニスト、日本初リサイタル!

SALEEM ASHUKAR PIANO RECITAL

サリーム・アシュカール ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第3番 ハ長調 op.2-3

Beethoven: Piano Sonata No.3 in C major, op.2-3

ブラームス:2つのラプソディ op.79

Brahms: 2 Rhapsodies, op.79

シューマン:子供の情景 op.15

Schumann: Kinderszenen, op.15

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調「告别」op.81a


Beethoven: Piano Sonata No.26 in E-flat major, "Les Adieux" op.81a

巨匠への道を着実に駆け上る超実力派ピアニストとして、今やヨーロッパを中心に圧倒的な存在感を示すサリーム・アシュカール。ナザレ生まれのパレスチナ系イスラエル人というバックボーンを持ち、ひたむきに音楽芸術を追究してきた彼は、17歳でメータに見出されイスラエル・フィルにデビュー、22歳でバレンボイムのタクトのもとカーネギー・ホールにデビューを果たした。その後もウィーン・フィルと共にザルツブルク音楽祭に登場、シャイブ指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管とはルツェルン音楽祭をはじめ幾度も共演し、DECCAからアルバムもリリース

されるなど、その実力は折り紙つき。現在は自身の「もっとも敬愛する作曲家」であるベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会を名門ベルリン・コンツェルトハウスほか各地で展開しており、同時に全曲録音のプロジェクトをDECCAと行うなど、その活躍ぶりには目が離せない。

記念すべき日本初リサイタルとなる本公演では、ベートーヴェンを軸として、それに続くシューマンとブラームスという系譜を描く。リリカルで瑞々しいアシュカールのピアノリズムをご体感あれ!

2019 **4.2** [火] 18:30開場 / 19:00開演

 浜離宮朝日ホール

都営地下鉄大江戸線「泉地市場」駅A2出口すぐ／朝日新聞社 新館2階 TEL: 03-5541-8710

【入場料(税込)】 10/17(水)一般発売

全席指定 ¥5,500 / 学生 ¥3,000

※学生券はパシフィック・コンサート・マネジメントのみのお取扱いです。

主催: 朝日新聞社 / パシフィック・コンサート・マネジメント
後援: イスラエル大使館 / 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

【お問い合わせ・お申込み】

PCM パシフィック・コンサート・マネジメント

03-3552-3831 <http://www.pacific-concert.co.jp/>

【プレイガイド】

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日 夜除く/10:00~18:00)

朝日ホール・チケットセンター

イープラス <http://eplus.jp/>

チケットぴあ <http://pia.jp/> 0570-02-9999 (Pコード: 127-564)

ローソンチケット <http://l-tike.com/> 0570-000-407 (Lコード: 35282)

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。

イベント託児・マザーズ (要予約) 0120-788-222



SALEEM ASHKAR PIANO RECITAL

サリーム・アシュカル (ピアノ) Saleem Ashkar, Piano

22歳でカーネギー・ホールにデビューを飾り、これまでに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ベルリン放送交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、バンベルク交響楽団、ロンドン交響楽団等、数多くの一流オーケストラと、ズービン・メータ、ダニエル・バレンボイム、リカルド・ムティ、リカルド・シャイー、ファビオ・ルイージ、ローレンス・フォスター、フィリップ・ジョルダン、ニコライ・ズナイダー、ピエタリ・インキネン、ヤクブ・フルチャ等の指揮者と共演している。

特にクリストフ・エッセンバッハ指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団(NDR、現NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団)との共演は大成功を収め、エッセンバッハは直ちに再共演を決定。2010年6月、シューマン生誕記念コンサートにアシュカルを招き、デュッセルドルフ交響楽団とシューマンの協奏曲を共演した。リカルド・シャイー指揮ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とはメンデルスゾーンのパiano協奏曲第1番でツアーを行い、BBCプロムス、ルツェルン音楽祭に登場するほか、メンデルスゾーン生誕200周年記念のツアーにも参加した。さらに、アシュカルの才能を高く評価しているシャイーは彼を度々コンサートに招いており、デッカ・クラシックスにレコーディングも行っている。

近年、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会を各地で展開しており、ベル

リン・コンツェルトハウスをはじめ、プラハ、ドイツのオスナブリュック、また母国であるイスラエルで開催している。また、アムステルダム・コンサートヘボウ、ウィグモア・ホール、ザルツブルク・モーツァルテウム、ウィーン・ムジークフェライン、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院等で演奏を行っている。また音楽祭への出演も多く、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とザルツブルク音楽祭に、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とBBCプロムスに、メータ指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団とチボリ音楽祭に、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団とボン・ベートーヴェン音楽祭に登場するほか、ルツェルン音楽祭、ラインガウ音楽祭、ラヴィニア音楽祭、リソル音楽祭、マントン音楽祭、ルール・ピアノ・フェスティバルでも好評を博す。

CDはデッカ・クラシックスから、2013年にアイヴァー・ボルトン指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団と「ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第1番&第4番」をリリースした。2014年には、リカルド・シャイー指揮ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団と「メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第1番&第2番、他」をリリースし、世界的に高い評価を獲得している。現在は、デッカよりベートーヴェンのソナタ全曲録音の大プロジェクトが進行中である。

現在、戦争地域や途上国の音楽家および音楽学校をサポートする非営利団体「ミュージック・ファンド」の大使を務めている。



● 浜離宮朝日ホール

Hamarikyū Asahi Hall

【地図・交通のご案内】

朝日新聞東京本社・新館2階(TEL: 03-5541-8710)
都営大江戸線・築地市場駅下車A2出口すぐ

【その他の交通】

- 築地駅 東京メトロ日比谷線(1, 2番出口)より徒歩約8分
- 東銀座駅 東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 汐留駅 都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 新橋駅 JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1, 2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分